

最先端技術で広がるコンテンツ活用

デジタル技術の進化とともに、映像コンテンツの活用はテレビやストリーミングでの視聴のほか、空間での体験など、様々な分野に広がっています。最新のテクノロジーを用いれば、どのような映像活用が可能なのか、新しい映像ビジネスのヒントとなる講義をお届けします。

併せて、日本における文化コンテンツのデジタルアーカイブを推進し、情報発信と価値創造を共創するスペース・NIPPON GALLERY TABIDO MARUNOUCHI の見学も体験できます。

皆様のご参加をお待ちしております。

技術委員会委員長 新村秀樹

日時：2019年2月20日（水）14時～16時（受付 13時～）

会場：NIPPON GALLERY TABIDO MARUNOUCHI 2階 イベントルーム

千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル 1階・2階

（JR「有楽町駅」国際フォーラム口より徒歩2分、有楽町線「有楽町駅」D3出口より直結）

I. 今日の映像は何になろうとしているか（40分）

講師：馬場 一幸（ばば かずゆき）氏

（目白大学 メディア学部 専任講師）

- 映像技術の屈性と傾性
- 映像技術の環境化、不可視化



II. 多様化する配信チャンネルと4Kテレビの新たな利活用（40分）

講師：前田 陽介（まえだ ようすけ）氏

（ジャパンケーブルキャスト(株) グループアライアンス推進室 室長）

- 空間デザインとしてのテレビの存在
- NHK、民放だけではないハイブリッドキャスト活用方法



III. ハイレゾ自然音を活用したビジネスの創出について（40分）

講師：榎本 誠也（えのもと せいや）氏

（株）JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント Ex.プロデューサー）

- 音響によるバイオフィリックデザイン“KooNe（クーネ）”の活用
- “感性（五感）”を拓く空間アクティビティデザイン



◆ NIPPON GALLERYの見学は、希望する回をお申込みください。

第1回見学：13時～ 第2回見学：16時10分～（各50分）

定員：80名（申込み先着順、満員になり次第締め切ります）

申込方法：別紙申込書に必要事項を記入の上、**2月15日（金）**までにFAX又はメールしてください。

申込先：〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町17-18 藤和日本橋小網町ビル7階

（公社）映像文化製作者連盟（TEL:03-3662-0236/FAX:03-3662-0238/info@eibunren.or.jp）

参加費：会員**3,500**円、一般**4,000**円（1名・税込）

振込み先：三菱東京UFJ銀行 虎ノ門支店 普通預金 **4001373**

みずほ銀行 虎ノ門支店 普通預金 **1496466**

口座名：（公社）映像文化製作者連盟 ※振込み手数料はご負担願います。